

平成14年度都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞地区概要

地区名	受賞者	地区概要
飯山市愛宕町雁木通り地区	愛宕寺町つくろう会 飯山市	<p>愛宕町は飯山市街地の北に位置し、伝統産業である仏壇店が軒を連ね、多くの寺院が建ち並ぶ「寺の町」である。多くの歴史的・文化的遺産、伝統技術が残されており、これらを生かし、新たな創造を加えることにより、経済的にも文化的にも潤いのあるまちづくりを実現させる活動が始められた。雁木通りの道路改良や雁木の復活にあたっては、住民協定の締結・ワークショップを通じてまちなみのあり方を語り、住民要望を实らせた。また、雁木通り沿道では、雁木通りの復活にあわせ、自販機の自主規制や案内板のデザインの工夫、花修景などの活動も進めている。</p>
瑞樹団地地区	みずき町会 金沢市	<p>当地区は、金沢市北東の田園地帯にあり、貴重な水生動植物の宝庫河北潟にも程近い、自然環境に恵まれた地域である。自然を積極的に取り入れ「新しい街と自然とが共存した生活環境」の創造を図っており、電線類の地中化で、ゆとりのあるすっきりとした景観が保たれている。周辺景観との調和を重視し、建物にも高さの制限や色調・形態のガイドラインを設け「古都金沢にふさわしい街並みづくり」を実践している。さらに、環境や街並みの保全、維持とともに更なる景観水準の向上を図るため、定期的に園芸教室を開くなど、住民が一丸となった活動を続けている。</p>
松本地区「せせらぎ歩道」	松本地区まちづくり協議会 神戸市 (株)環境緑地設計研究所	<p>当地区は、阪神淡路大震災で約8割の家屋が被災し、そのほとんどが火災での焼失だった。市は震災からの早期復興を図り、防災性に優れた市街地整備を行うため、土地区画整理事業を着手した。これを契機として、まちづくり協議会が結成され、まちの復興とともに景観に対する取り組みも行われた。都市計画道路松本線の北側広幅員歩道部分に「せせらぎ歩道」を設け、憩いと安らぎのある景観を創出するとともに、無電中化を行い、地区計画による沿道建物のコントロール等により、地区のシンボルにふさわしい街路空間の景観形成が図られた。</p>